

島田市役所周辺整備基本構想検討委員会 第2回会議 議事概要

1 日時 平成30年2月27日（火） 午後7時～午後9時

2 場所 島田市役所本庁舎4階 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員

海道委員長、森澤副委員長、荒井委員、石川（春）委員、石川（政）委員、伊藤委員、
杵塚委員、佐久間委員、佐野委員、鈴木委員、高橋委員、中林委員
（13人中12人出席）

(2) 事務局

行政経営部財政課 鈴木課長、高木課長補佐 岩本係長 小柳津主事 福田書記

4 概要

(1) 開会

(2) 報告事項

資料に基づき、次の3点について事務局から報告した。

- ①検討に当たっての前提条件の整理について
- ②民間資金等活用事業基本調査の結果（概要）について
- ③市民ワークショップの実施状況について

なお、委員からの質問・意見は以下のとおり（○：質問・意見 →：事務局回答）

②民間資金等活用事業基本調査の結果（概要）について

- 民間資金等を活用する手法を採用した場合は合併推進債の活用を考えないということか。
→今回の調査では、合併推進債の活用は前提にしていない。合併推進債活用以外の手法を検討するための調査である。
- 資料2において、配置案と概算費が出されており、既定路線のような気もするが。
→民間資金を活用した場合の概算事業費を算出するために市が4つの整備条件を設定し、それを受託者が2つに絞り、事業費を算出したものであり、これを前提にこれからの検討を進めていくのではない。配置案はあくまでも調査のための前提であり、1つの参考として考えていただきたい。
- 市が業者に対して、設定した4つの整備案のうち、採用されなかった2つについても教えていただきたい。
→1つは旧市民会館の位置に文化施設と中央公民館機能を持ったものを建て、おおりを庁舎に転用するという案。もう1つは受託者の自由提案であり、旧市民会館の位置に文化施設と中央公民館の機能を持ったものを建て、おおりの位置に庁舎を建てるというものである。

○PFI方式を採用した場合、合併特例債を活用した場合の違いやそれぞれのメリット、デメリットが分かり、比較検討が可能な資料を提供していただきたい。

③市民ワークショップの実施状況について

○ワークショップで出たアイデアの中に稼ぐ力という言葉が出ているが、詳しく聞きたい。
→企業が賢く儲けて、市民に安い値段でサービスを提供すると喜ばれる／企業を誘致してテナント使用料をもらう／スーパー、コンビニ、カフェ等を誘致して使いやすいものにしてほしい／年金事務所、郵便局を1つの事務所内に入れて、動きやすい市役所になってほしい といった内容である。

(3) 協議事項

次の3点について協議した。

- ①市民アンケートの実施について
- ②対象地の利用状況（歴史的経緯等）について
- ③文化施設の活用とまちづくりについて

なお、委員からの質問・意見は以下のとおり（○：質問・意見 →：事務局回答）

①市民アンケートの実施について

- アンケートの項目は慎重に考えるべき。（複数意見）
- 対象者は若い人から年配まで、男女、障害者等幅広いターゲットを想定してほしい。
- ホールの部分では、利用者（舞台に立つ発表者）の意見のほか、鑑賞者の意見、実際に文化を創造する担い手側（スタッフも含め）の意見も聞いてみたい。ホールの活用には文化を創造する人材が不可欠で、それには相当の予算が必要となる。ホールを持つにはそれなりの覚悟が必要だということも念頭に置くべき。
- 市が、真剣に市民に対して問いたいという姿勢を見せるべきである。内容も重要であるが、真剣度を市民に伝える良い機会になる。（複数意見）

②対象地の利用状況（歴史的経緯等）について

- 民間事業者の意向調査において、現在の市役所周辺の位置が商業ベースに乗らないとの意見があった中で、稼ぐということを1つのテーマにした場合、他の場所なら商業ベースに乗るかもしれないということはあるのか。
→市が保有する土地の中で、市街地でまとまった面積を確保できるのはここだけというのが現状である。

③文化施設の活用とまちづくりについて

- 現在、旧市民会館に代わる機能についてどう対処しているか示していただきたい。
→近隣市のホールを市民が利用することとなった場合、市外料金と市民料金の差額については本市が助成するというで対処している。
- 春に開館する「音楽広場」は、市民会館解体で失われた機能がある程度補う機能を有していると捉えてよいか。
→一定の催しものを開催できるスペースはあるが、それほど多い人数は入れられない。
- 資料5のコストは行政側から見たものである。指定管理者から見た収支の状況、特に運営

から生み出される収入、運営に係る人数等も含めた資料を提示していただくと、もっと状況が見えてくる。

その他の意見

- 現在、新病院や新東名島田金谷インターチェンジ周辺整備といった事業がこの市役所周辺整備と同時並行で進む中、これからどれだけの市民負担が想定されるのかを、例えば年収400万円の家計になぞらえるとどうなのかというような方法で、分かりやすく示していただきたい。
- この委員会での議論の前提として、例えば市の土地の間に介在する民地も使うような構想も考え得るのか、今一度確認しておきたい。
- 50年後にこの市役所周辺がどのような風景になっているのか想像することも大切である。
- アーティストを育てる、創るという考えは子育てにおいて重要であり、そういう施設があると良い。
- 島田市は昔から文化都市と言われていて、近隣に率先して市民会館を建てたので、いいものを造ってほしい。
- 駐車スペースの確保も検討していくべき。

(3) その他

次回開催日は改めて調整の上、決定することとした。

(4) 閉会